

第3期中期目標・計画 総合評価・年度評価（自己点検評価）【案】

項目	(第3期中期目標・計画の事業別項目(13の事業)を記載)									
担当課	所管部課									
位置付け等	(基本的運営方針（博物館の使命などを記した中期目標・計画の上位計画）の位置づけについて記載)									
中期目標・計画の内容 (Plan)	(第3期中期目標・計画 事業別項目の主な内容を記載)									
予算措置の状況	(単位：千円)									
	事業名	概要	R7	R8	R9	R10	R11	計	備考	
								-		
								-		
活動実績と評価指標の達成度 (Plan Do)	(単位：件数、%)									
	項目	指標	R7	R8	R9	R10	R11	計	達成度	
		目標							%	
		実績								
		目標								
		実績								
		目標								
		実績								
		目標								
		実績								
							平均	%		
自己点検評価 (Check)	達成区分	理由(要因)							評価結果	
	指標(目標)の達成状況	<p>(達成区分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 計画以上に達成(平均値100%以上) ○ 概ね計画どおり達成(平均値80%以上100%未満) ○ 達成せず(平均値80%未満) <p>(評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> A B C 							B	
	重点目標 その他実績等の有無	<p>有無</p> <p>重点目標その他の実績等の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 上記の達成状況の他、評価すべき実績がある場合「有」 ○ 上記の評価結果(ランクA~C)は、客観的事実としてランクの変更は行わず、「有」の場合、「+」表示 							+	
	成果(アウトカム)	<p>成果(基本的運営方針に定める使命や基本方針の視点)</p> <p>(※博物館の望ましい基準改正などを踏まえ、単なる結果の数値確認に留まらず、結果により創出される成果(アウトカム)について検証することで、使命の達成に近づけていくことが重要 →「成果(よかったこと)」に加え、基本的運営方針に対し、どのように寄与または貢献したか、近づいたかなどを記載)</p>								
課題と対応方向 (Action)	<p>今後の課題と対応方向</p> <p>(PDCAサイクル上最も重要な部分であり、課題や問題を明らかにし、対応(改善)の方向性を示す。)</p>									

【参考】「第2期中期目標・計画期間の自己点検評価様式」と「第3期の見直し方向」

年度評価 【事前評価】

中期目標・計画番号	所管G					
項目名						
計画策定担当者	学芸主査	学芸主幹	所用見込額(千円)	前年度	当年度	全体所用額
予算計上	(予算費目、予算額を記入)					
年度計画	重点項目(重要性・緊急性)	(とくに重点的に取り組む計画を記載)				
	一般項目	(毎年取り組んでいる目標・項目を記載)				
前年度との主な変更点	(変更点を記載)					
直近の協議会評価意見に対する取組	(意見をどのように取り入れたのか記載)					

■第3期～
あらかじめ
評価項目
(取組項目)と
評価指標を
設定

事前評価取りやめ

整合性や適切性(点検事項)は、
備わっていることを前提として、
改めて評価しない

年度評価及び総合評価【事後評価】

記入日	年月日	記入者	
業務責任者	学芸主幹	業務担当者	
取組の状況と実績	とくに評価すべき項目	(とくに評価すべき項目の内容と理由(事情・背景など)を記載)	
	達成・実現できなかった項目	(達成・実現できなかった項目の内容と理由(事情・背景など)を記載)	
	当初計画になかった項目	(当初計画になかった項目の内容と理由(事情・背景など)を記載)	
	今後の対応策	(今後の対応策について具体的に記載)	

■第3期～
評価は、
客観的事実に
基づく達成度
(業績)評価を
基本
(適切性に対する
評価は取りやめ)

PDCA改善
サイクルを意識

評価すべき計画外の実績等がある場合、別に評価
(評価ランクを変更しない)

■「課題」や「改善点」を明らかにすることに重き

【事前評価】

第一次自己評価	総括評価	担当(学芸主幹)	個別評価項目	個別評価
	A B C	【説明】	中期目標・計画との整合性	a b c
			年度計画の適切性	a b c
			協議会意見評価への反映	a b c
実現の可能性			a b c	
第二次自己評価	総括評価	担当(学芸部長)	評価完了日	年月日
A B C	【意見】	<input type="radio"/> aが一つ以上で、適切な計画である A <input type="radio"/> 概ね適切な計画 B <input type="radio"/> cが一つ以上で、不適切な計画 C		

【事後評価】

第一次自己評価	総括評価	担当(学芸主幹)	個別評価項目	個別評価
	A B C	【説明】	事前評価に対する対応の適切性	a b c
			年度計画の達成度	a b c
			状況変化への対応の適切性	a b c
今期の対応策の適切性			a b c	
第二次自己評価	総括評価	担当(学芸部長)	評価完了日	年月日
A B C	【意見】	<input type="radio"/> aが一つ以上で、計画どおり又は計画以上に達成 A <input type="radio"/> 概ね計画どおり達成 B <input type="radio"/> cが一つ以上で、計画どおり達成せず C		

第3期中期目標・計画 総合評価・年度評価（協議会評価）【案】

評価意見（総評）

② 協議会意見の総括

〈博物館〉 次年度の自己点検評価の際に、協議会評価に対する対応（見直し・改善など）の内容について、併せて報告することとしたい。

各委員の意見など

① 自己点検評価に対する各委員の意見
（特に、「課題と対応方向」に対して、ご意見いただきたい。）

備考